

第37回全国ミニバスケットボール大会
埼玉県・女子の部代表 狭山スターズ



狭山の元気 発見



学年に関係なく「仲良く・競い合って・そして励まし合って」。
みんなバスケットボールが大好き！新しい仲間も大歓迎です

高い目標を持つことで手に入れた栄光

全国の頂点へ向けてさらなる飛躍を

軽やかなパスワークで目まぐるしくゲームが展開していくバスケットボール。それを小学生がプレーできるようにルールやボールを変えたのがミニバスケットボールです。皆さんも、体育の授業で経験した方が多いのではないのでしょうか。そのミニバスケットボール・女子の部で埼玉県の頂点に立ち、全国大会に挑むチームがあります。小学3年生から6年生までの15名で構成される狭山スターズです。

狭山スターズは、結成から7年めを迎え、柏原小学校の体育館を本拠地として活動しています。メンバーは全員小学生とあって、雰囲気はとても明るく、そしてにぎやか。はじける笑顔がまぶしい、元気いっぱいこのチームです。その元気が源」となっています。埼玉県代表の座を手に入れました。チームがこれまで取り組んできたのは、しっかりと練習をすること。特別なことをするのではなく、その積み重ねが、今回の成果をもたらせたのです。今年度、チームが掲げた目標

は、関東大会出場でした。が、惜しくも敗退。あと一歩で手が届かず、みんな非常に悔しい思いをしたそうです。そんな中、チームを率いる須賀監督は、今年度最後のトーナメント戦が第37回全国ミニバスケットボール大会への切符をかけた大会でし」と、そこに新たな目標を見い出しました。



小さな背中に輝く「星」

チームですが、練習中は、ボールやチームメイトの動きに集中し、一つひとつの動作は正に真剣なもの。バスケットの楽しさだけでなく、厳しさも全身で感じながら練習に励んでいます。

「初めはなかなか勝てなかったチームですが、子ども達の頑張りや全国大会への扉を開いたと思います」…須賀監督は、プレーするのはあくまでも子ども達と、試合では一人ひとりの調子に加え、冷静にチーム全体のバランスを考え、指揮を執っています。またバスケットをとおして、人として大切なこと「…あいさつや礼儀、和などをチームのみんなが学び、実践していることが、強さ」を支えているのかも知れません。

ミニバスケットボールにはいくつかの大会がありますが、勝つことで次の試合の切符を手にするトーナメント方式の大会は少ないため、その機会を通じて一つ勝つことの難しさや喜びを経験することは、チームにとって大きな意味を持ちます。勝たなければ次の試合はない、勝利の先にあるのは全国大会。さらに高い目標を持ったメンバーからは、自発的に、練習時間を増やしてほしい」と声があがるほど、チーム内の意欲も高まっていき、コートから離れば、まだ幼さやあどけなさが残るメン

全国大会出場は、チームみんなで手に入れた栄光です。3月28日 から始まる大会には、全国から男女各48チームが集結します。代々木競技場体育館を舞台に輝く15個の「星」たちを、皆さん、ぜひ応援してください。



親切で丁寧な対応のために



四季折々の景色が楽しめる智光山公園

私たちの自治会は、日高市・川越市と隣接し、市内の北に位置する地域です。昔を思わせるのどかな風景が多く見られ、近くの智光山公園は、四季をとおして私たちを和ませてくれます。特に春は桜の花が見事に咲き、名所の一つに挙げられるほどです。ときにはカワセミの美しい姿を目にすることも。また、ソフトボールがとて盛んで、柏原地区では何度も優勝しています。

そして、春と秋に行うクリーン作戦では、会員の環境に対する意識が高いため、参加率はほぼ100%です。このように、地域に残る豊かな自然などを次世代へ引き継ぎ、「住んで良かった」と思われるような活動を展開したいと考えています。

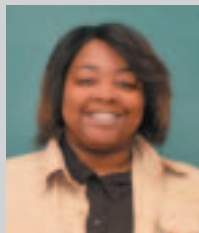
「信頼される市役所・親しまれる職員」を目指して 接遇向上への取り組みが必要

市役所には毎日、多くの方が訪れます。そのため、市職員には、適切で親切な窓口・電話対応が求められます。そこで今月は、訪れた方の中から寄せられた、市職員に対する「声」をご紹介します。

必要な書類を取るために、事前に確認して窓口へ行くと受け付けられないと言われました。事前に確認したことを伝えても

聞いてはもらえませんでした。確認した職員と違う人であつても同じ職場なので、もう少し誠意のある対応を取るべきではないでしょうか。早口で聞き取りにくく、分かりにくい説明でした。全体的にかなり事務的な口調、行動が目立ち、不親切に思えました。意見を申し出たところ、市職員が早速対応

Assistant Language Teacher



Matrina Takahashi
マチュリーナ・カラ・高橋
(堀兼中学校勤務)

アメリカ出身
狭山市のALTとして勤務は1か月
趣味は音楽(ゴスペルなど)

Hello to everyone in Sayama City, Saitama. I was born and raised in kings County, Brooklyn, New York. New York is well known for its spectacular Skyscrapers and its cultural diversity. I have been living, working and doing music in Japan for over 9 years. I have had many opportunities to appear on TV, and Radio from Cable to Commercials to Magazines. I have been so grateful to have made many Japanese friends. I came to Japan with no Japanese ability. I studied my Japanese on my own. I am happy here in Japan furthermore, I am very grateful to have been given the opportunity to share my experience with the Junior High School and Elementary School Students of Sayama City. If you should happen to see me in a convenience store or a coffee shop please feel free to say "HI". I would love to talk to you in English or Japanese.

狭山の皆さん、こんにちは。私の生まれ育ったニューヨークは、華麗な摩天楼と多様な文化で知られる都市です。

私は、9年以上日本で暮らし、働き、そして音楽をやってきました。テレビや雑誌のCMに出る機会がたくさんあり、大勢の友人を作ることができました。何の日本語能力もなく来日し、独学で学びましたが、今、日本にいて幸せです。さらに狭山市の小・中学生と接する機会を与えていただいたことに深く感謝しています。もし、コンビニやコーヒーショップで私を見かけたら、気軽に声をかけてください。日本語でも英語でもいいから皆さんとお話をしたいです。(英文の要約)

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。
☎2954 6262代 Eメール koho@city.sayama.saitama.jp

してくれて感謝しています。丁寧な説明、真摯な態度に好感を持ちました

市では、市職員に向けた「接遇マニュアル」を作成し、これに基づいた適切な窓口・電話対応ができるよう、職員研修などに組み入れて、職員の意識高揚を図っています。さらに、現在、市民サービスの一

層の向上を目指し、3月31日まで「窓口サービスアンケート」を行っています。これは窓口を利用する市民皆さんに、市職員の態度や利用が済むまでの印象などを伺うことで、電話窓口対応の改善など、職員の接遇向上を図るために行います。窓口を利用した際は、ぜひ皆さんの「声」をお寄せください。

担当 職員課・総務課